



www.gohokensetsu.co.jp



フリーアクセス 0800-200-0082

本社 | 〒422-8006 静岡市駿河区曲金 2 丁目 8 番 39 号 [TEL]054-283-0777 [FAX]054-283-0971
営業時間／9:00～19:00 ※土日・祝日も営業しております [e-mail] info@gohokensetsu.co.jp

静岡西支店 〒421-0114 静岡市駿河区桃園町 1-1 [TEL]054-258-5454 [FAX]054-258-5455

建設業許可：静岡県知事許可（般-22）第 9473 号 宅地建物取引業許可：静岡県知事許可（11）第 3417 号

ナナメ
GOHO STYLE
ウエのイエ

ナナメ

GOHO STYLE

ウエのイエ

フロアを少しずつずらし、立体的に空間を繋ぐナナメで着想する新しい家づくりの仕組みです

メリット 1

家族との憩いのひととき

スキップフロアの空間は、家族との関わり方やプライバシーにも効果を発揮します。限られた空間の中でも開放感あふれる広がりを生み出したり、家族とのコミュニケーションを大切にしたプランニングをします。

メリット 2

採光の極意

室内にいかに光を取り込むか・・・採光は家づくりにおいてとても重要な要素です。ただ単に窓を数多く設置することが答えではありません。建物の立地状況や自然の原理、窓ガラスの特性も踏まえ、「ナナメウエ」が生み出す効果的な採光をプランニングします。

メリット 3

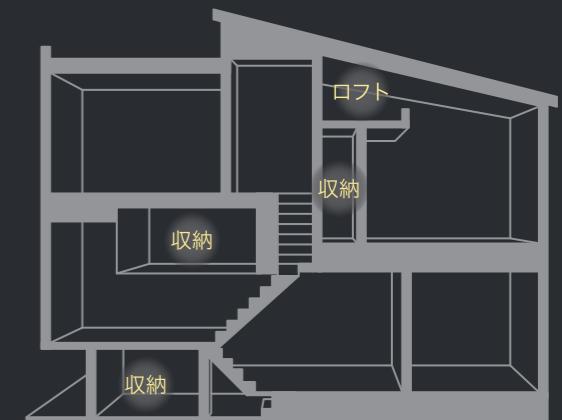
面積から容積へ

住宅の価値をはかる基準に床面積 (m^2) がありますが、『ナナメウエ』の着想によるプランニングにおいては空間容積 (m^3) に価値を見いだします。立体としての空間構成に終始することで暮らしの利点を生み出し、土地と空間を最大限活用します。

土地を隅々まで有効活用する空間づくり



一般的な家



ナナメウエの家

面積から容積への発想の転換により、住宅の空間利用率を高め、土地を隅々まで有効活用する空間づくりを確立。住宅を床面積で考えるのではなく、容積で捉えて空間利用率を高めます。土地の制約を受けない縦発想の空間づくりにより、床下や小屋裏のスペースも活かしながらコンパクトで機能性の高い空間を追求するため、たとえば、床面積22坪の家で容積は30坪の家を上回る空間を確保。建築コストの抑制にも貢献します。



家族の絆が深まる空間マジック

「ナナメウエ」を持ち込むことで開放感が増し、家族との関わりにも効果を発揮。限られた空間を活かし、住み手の気持ちに期待以上に応えます。

1 対角線の長さで開放感を生み出す空間プランニングが特長です。

たとえば、空間を横にずらしてみると、対角線の長さが伸びます。この対角線を人間の視線と考えれば、ずらすことによって遠くまで見渡せるようになり、空間の広がりが増すことになります。これが「ナナメウエ」の空間プランニング。同じ広さなのに、より広く感じる空間マジックです。

2 キッチンで料理しながらお子さんの勉強する姿を見られたり…

キッチン横にテーブルを設ければ、このテーブルでお子さんが勉強する姿を料理をしながら見渡せます。キッチンでお母さんがひとりぼっちになることなく、リビングにいる人たちとお互いに顔を見合わせて会話ができるという、家族の絆を深める大切なワンシーン。立体的な空間プランニングによってより良いライフスタイルを演出します。

3 上も下も使えるため、収納力も格段にパワーアップします。

「家を小さくつくる」からと言って、収納スペースを犠牲にしたりはしません。むしろ、収納力が増すのがメリットです。『ナナメ』の着想によって生まれた収納スペースは、リビングの床下の大型収納や、1Fバルコニー下の外部収納、ロフト部分にも大型収納を設け、空間を最大限に活用。通常の約1.5倍もの収納力を実現します。

陽の光を室内に感じる暮らし

南から指す光はもちろん、窓の位置・形状・大きさ、種類まで綿密に計算し、北から指す自然光もたっぷり採り込みます。

1 暗くなりがちな北向きの部屋にも、自然光がたっぷり降り注ぎます。

採光に対する考え方の基本は、北向きの部屋でも自然光だけ新聞が読める明るさを確保すること。冬至日の太陽の位置に合わせ、窓を設置します。光の特性である反射にも目をつけ、隣の家の外壁に反射する光を室内に採り込んだり、吹き抜け部分から入る光を白い壁に反射させて一層明るくするなど、綿密な計算のもと採光を工夫しています。



2 自然光を室内に拡散させるため、窓のガラス選びにもひと工夫。

光の「反射」に加えて、光の「拡散」にも採光の極意があります。それは、より明るさを確保したいときには「デコボコガラス」を選択するというもの。このガラスには視線を遮る効果だけでなく、通常の透明ガラスに比べて表面積が増え、光を拡散させる効果もあります。つまり、より広範囲に自然光を届けることができるのです。



3 家具の配置もちゃんとと考え、無駄なく光を取り込みます。

リビングに家具やソファを実際に置いてみたら、窓の半分が隠れてしまって暗くなり、外からの見た目も悪いというケースが往々にして見かけられます。五朋建設では、そんなことのないように、プランニングの段階から家具の配置も考えて設計します。デザイン性や機能性に配慮しながら、無駄のない採光を実現します。